

# 平成24年度 事業報告書

大慈保育園

1. 《法人ヴィジョン》
  - ①経営の強化
  - ②サービスの質の向上
  - ③教育システムの充実
  
2. 《基本方針》
  - ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い、共に育てる。
  - ②職員一人ひとりが自己研鑽を行い、資質向上に努める。
  
3. 《目標》
  - ①子ども一人ひとりを丁寧に保育する。  
→一人ひとりに向き合えるよう、全職員で協働できる体制が整った。
  - ②地域の世代間交流を深める。  
→デイサービスセンター真愛や盲学校、近隣保育所、地域の小中学校との交流を定期的に行った。
  - ③職員の資質向上のため、研修に参加し、全職員で共通理解をする。  
→会議時の研修報告により、共通理解し保育園全体で取り組むことができた。
  - ④認定こども園・分園開園を視野に入れ、保育内容を深め、人材確保に努める。  
→キャリアの短い職員も保育理念に基づいた保育が行えるようマニュアルを整備した。  
子どもの健やかな育ちのため、会議を重ね意見を出し合って全園児の把握に努めた。  
今後に対応できるよう、採用人数を増やした。
  
4. 《保育環境整備》
  - ・木の正門が老朽により朽ちたので、アルミ製の門にした。
  
5. 《職員研修》
  - ・職員の資質向上のため、職員会議毎に研修・伝達講習を行った。
  - ・月1回元神戸市私立保育園連盟指導保育士大石静恵氏により保育研修を行った。
  - ・兵庫保育園と合同で、月1回造形研修を行った。
  - ・6月28日、兵庫保育園と合同で「心肺蘇生・AED研修」を行った。
  - ・7月26日、兵庫保育園・ハーバー大慈と合同で仲島正教氏による講演会を行った。
  - ・11月23日、兵庫保育園と合同で、午前中は佐藤税理士による「会計研修」、午後は、テーマ別に研究発表を行った。
  
6. 《広報》
  - ・保護者に、職員紹介ニュースを発行し職員との交流を深めた。
  - ・本園ホームページの更新を行った。
  - ・園庭開放のポスターを病院などに掲示していただいた。
  - ・地域の施設・学校・関係者に園だよりなどを配布した。

7. 《育児支援》

お誕生日会・園庭開放・子育て応援事業時に育児相談や健康相談を行った。

8. 《災害・防犯避難訓練》

- ・毎月1回 避難訓練を行った。
- ・毎月1回 防犯避難訓練を行った。
- ・1月24日 警察による交通安全防犯訓練を行った。
- ・11月13日、3月8日 津波防災訓練を行い、全園児湊川神社まで避難した。

9. 《会議》

- ・月1回、職員会議・給食会議を行った。
- ・月1回、リーダー会議を行った。
- ・5月、3月運営会議を行った。

10. 《健康診断・衛生》

内 容	実地日 (回数)	業者等
健康診断	4月・11月	浪方医院
眼科健診	6月・2月	向井・曾谷眼科医院
歯科健診	6月・2月	郷田歯科医院
耳鼻科健診	6月・2月	野村耳鼻科医院
ぎょう虫検査	6月	兵庫県予防医学協会
尿検査	6月	兵庫県予防医学協会
調理室の消毒	毎月 (1回以上)	サニックス株式会社

11. 《行事内容》

月	行事名
4月	入園式 交番訪問
5月	遠足 クラス懇談会 お楽しみ会
6月	お楽しみ会
7月	七夕祭り プール遊び
8月	プール遊び 地藏盆 1日スイミングスクール
9月	デイサービスセンター交流
10月	運動会 お泊り保育 遠足
11月	作品展 兵庫保育園交流 お楽しみ会 保育参観ウィーク
12月	音楽会 クリスマス会 おもちつき デイサービスセンター交流
1月	お楽しみ会 よいこの集い 六甲山スキー遠足 デイサービスセンター交流
2月	豆まき
3月	生活発表会 お別れ遠足 お別れ会 卒園式 兵庫保育園・古湊保育所交流

1 2. 《月間行事》

行事名	
ECC英語教室3歳児クラス（月1回）	盲学校交流（概ね週1回）
ECC英語教室4・5歳児クラス（月2回）	育児講座（月1回）
お誕生日会（月1回）	

1 3. 《平成24年度在籍児一覧表》

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	6	21	27	30	32	32	148	114%
5月	8	25	28	30	32	32	155	120%
6月	8	25	28	30	31	32	154	118%
7月	9	25	29	30	31	32	156	120%
8月	9	25	29	30	31	32	156	120%
9月	9	25	29	30	31	32	156	120%
10月	9	25	29	30	31	32	156	120%
11月	9	25	29	30	31	32	156	120%
12月	9	25	29	30	31	32	156	120%
1月	9	25	29	31	30	32	156	120%
2月	9	26	28	31	30	32	156	120%
3月	9	26	28	31	30	32	156	120%
合計	103	298	342	363	371	384	1,861	119%

1 4. 《リスクマネジメント報告》

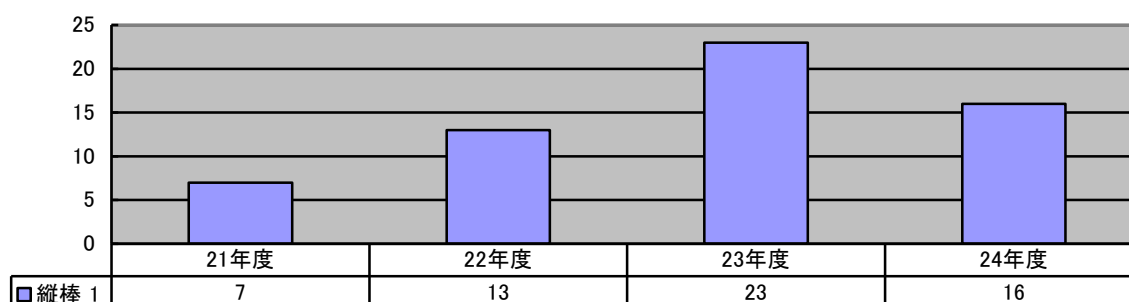
※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

平成24年度					平成23年度				
報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置	報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置
	679件	16件	447件	216件		812件	23件	586件	203件

22年度442件（事故13件、ドキドキ429件）

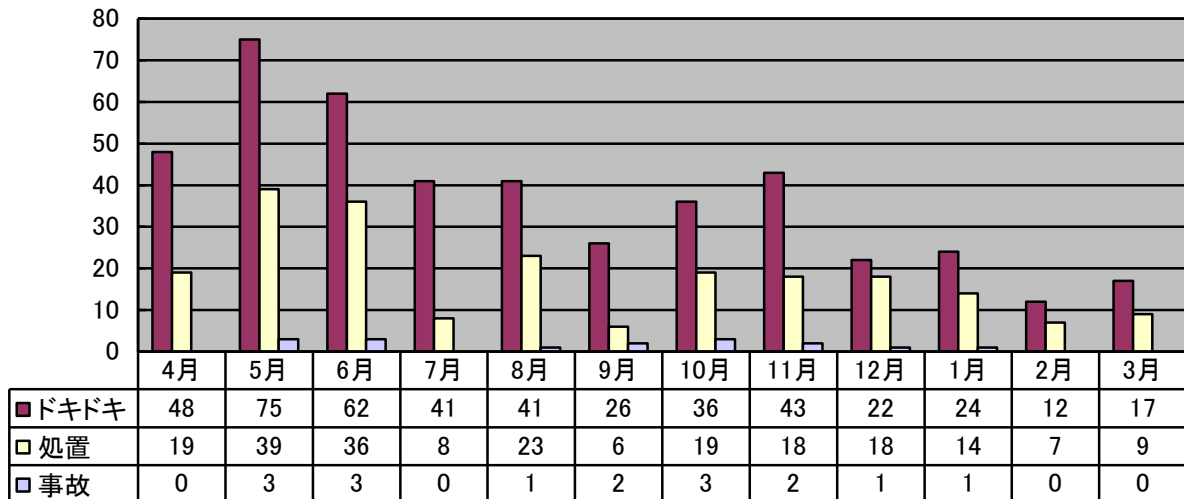
21年度398件（事故7件、ドキドキ391件）

※24年度4月より、救急箱の用品を使った際に記入する救急箱用紙の集計も行っている。  
 ドキドキの事故用とは異なり、一人で怪我をした際や園以外でケガをした箇所の手当て  
 （例：絆創膏の張り替え、虫さされ、さかむけ等）を記入する。これらも全て処置に含まれるので、ドキドキの件数より処置の件数が多くなる場合がある。



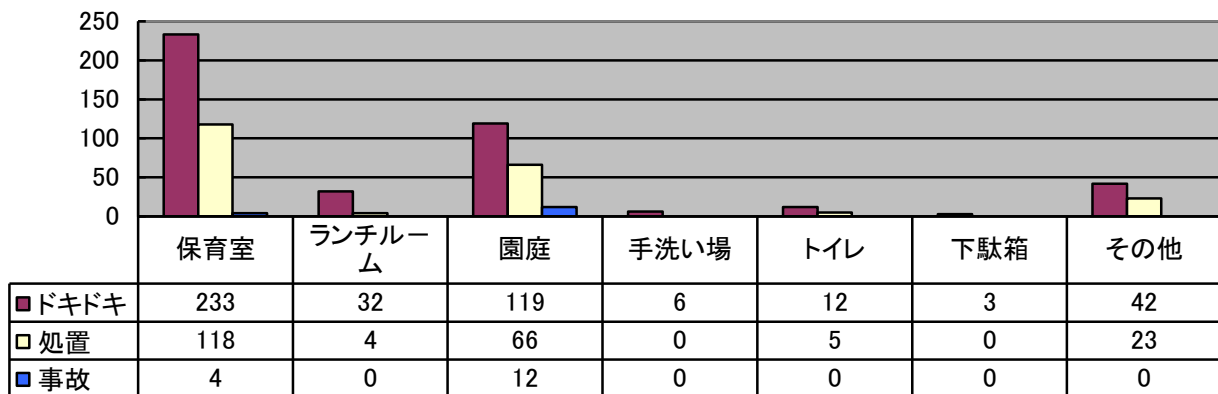
### ①月別発生件数

→5月にドキドキが多いのは、お散歩など園外に出始めた為だと考えられる。



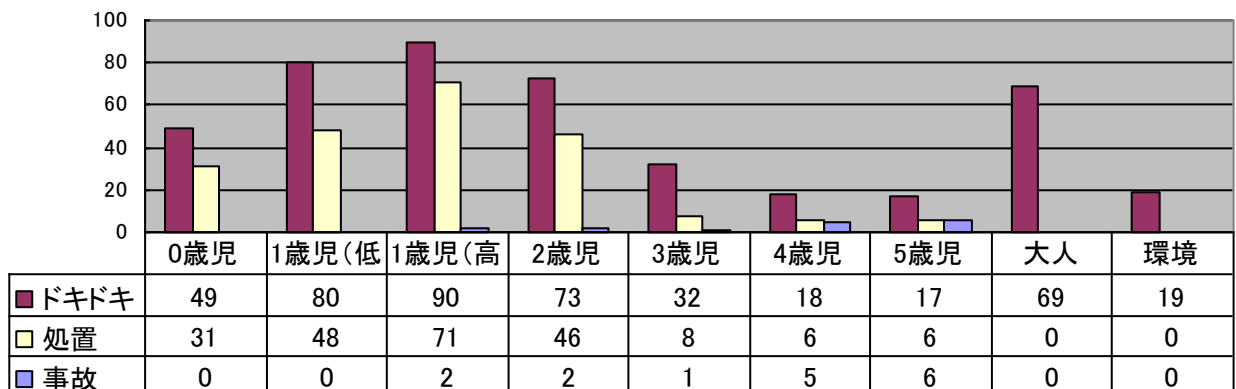
### ②場所別発生件数

→子どもが長い時間過ごす場所が目立っている。



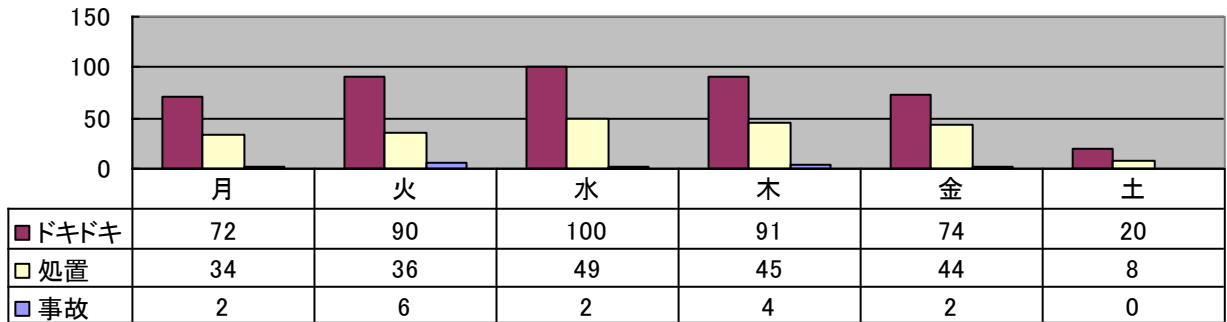
### ③クラス別発生件数

→嘔むつきや転倒など子ども同士のトラブルにより、ドキドキ・処置は乳児が多い。



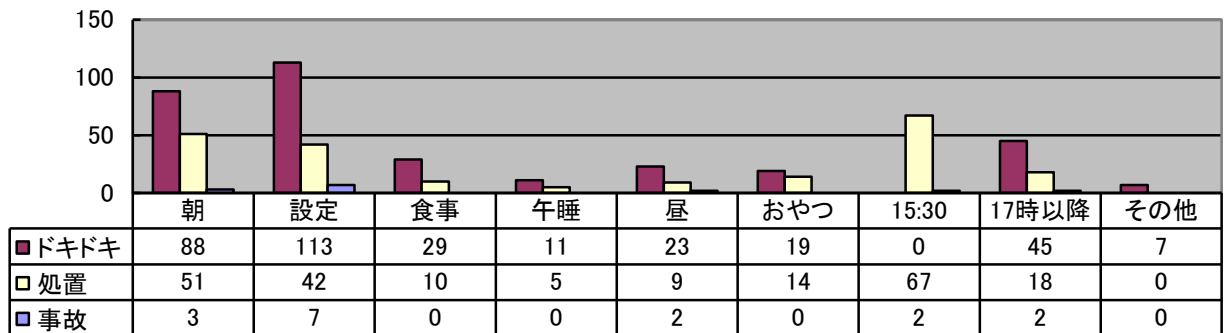
④曜日別発生件数

→月曜日が少ないのは、週はじめで疲れが少ないためだと考える。  
土曜日は、登園児が少ないためである。



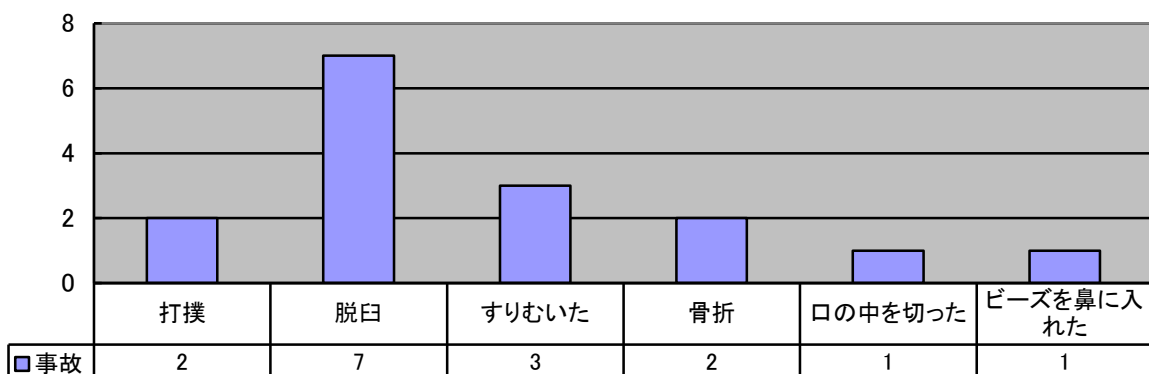
⑤時間帯別発生件数

→設定保育中は、活動が活発であったり種類が増える為であると思われる。  
異年齢で遊ぶ時間帯も危険が多いと考えられる。



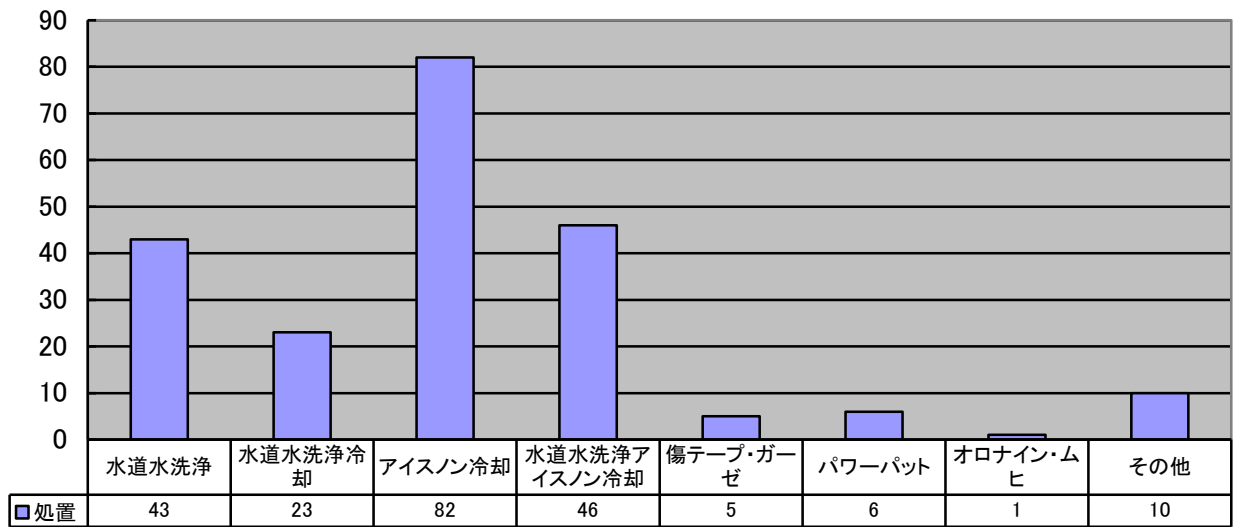
⑥事故発生内容

→4歳児に脱臼しやすい女児がいた。子ども同士の関わりの中で起こった。  
遊びの中での転倒・雲梯からの転落で、5歳児が2人手首の細い骨を骨折した。



⑦処置内容

→0歳児、1歳児が転倒して打ったなど、冷やすことが多かった。



⑧まとめ

細い骨の骨折が2件もあった。

運動量は増えているが、骨の強化を考えていかなければならない。

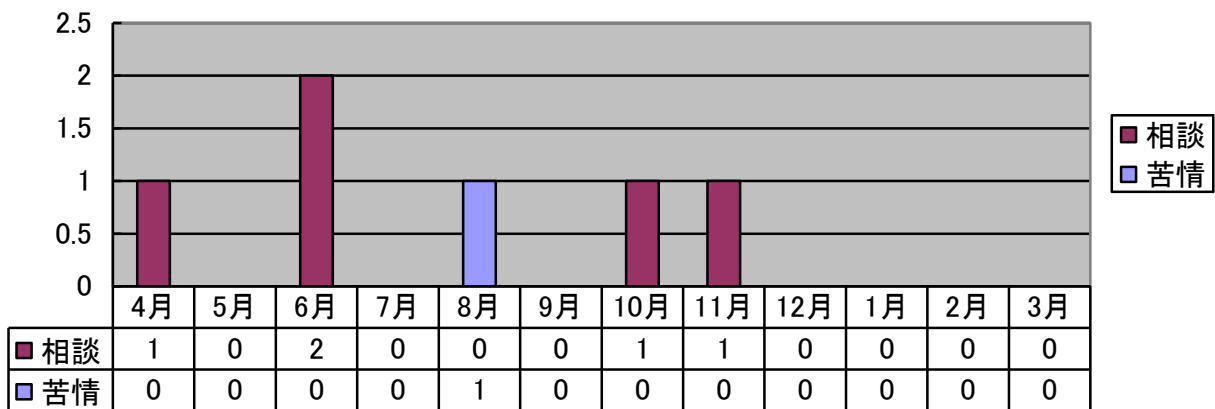
小さいころからの食生活の見直しや指導を行うようにしたい。

0歳児、1歳児の転倒が多く、アイスノンで冷やすことが主であった。1歳児高月齢、2歳児は子ども同士の関わりが深くなる年齢であるので、注意してみていく必要がある。また、今まで以上に運動遊びを強化して身体能力の向上を図っていかなければならない。

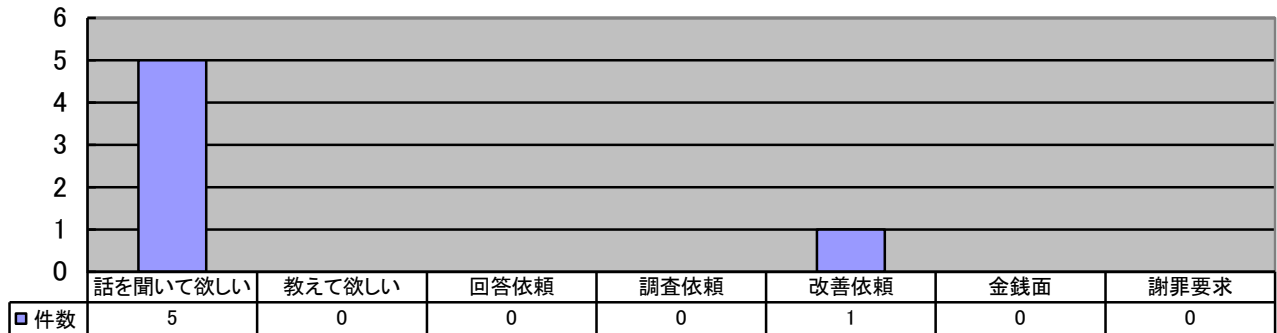
1.5. < 苦情・相談結果報告 >

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

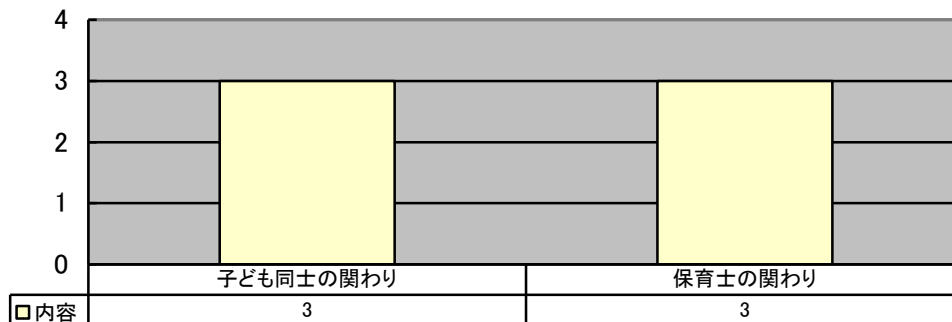
○報告件数・・・6件（内苦情1件）



## 要望分類



## 主な内容



### ○まとめ

苦情は園長が対応した場合と定義している。

園長に話がしたいというケースは1件のみであった。

また、こちらからアプローチをし、保護者の話に耳を傾けることで、反対に信頼関係も築けた。その後気持ちよく保育園に通ってもらっている。

### 16. <総括>

新園舎での保育が2年目になり、随分落ち着いて保育を進めることができた。一人ひとりを大切に育てることが全職員に定着し、保育者と子どもや保護者との信頼関係が深まったと実感している。

また、毎朝マラソンに加えサーキットを取り入れることにより、体力向上に繋がった。毎年行っている年度末のアンケートでは、感謝の言葉や建設的な意見が多数あり、家庭と保育園とで共に子どもを育てていると強く感じた。

今後新採用職員が増加する中、子どもを第一に考え保護者に寄り添って保育ができるよう、保育理念を基に保育課程に沿って丁寧な保育をしていきたい。

そして、地域の子育て家庭への支援や世代間交流を広げ、みんなに愛される大慈保育園を目指し心豊かに保育に取り組んでいきたい。